

令和3年度事業の基本方針

会 長 宮 本 謙 三

公益社団法人高知県理学療法士協会は、昨年度に設立50周年を迎えました。残念ながらコロナ感染症の拡大により記念式典は延期となっておりますが、会員数1600名を越える県内有数の医療職能団体となり、医療福祉領域における幅広い公益活動を通して積極的な社会貢献を行っています。

本協会ではここ数年にわたって事務局強化ならびにブロック活動の活性化に取り組んできたところですが、コロナ禍によるリモート会議の広がりや情報提供のデジタル化を機に、今後の事業運営のあり方に変化が予想されます。令和3年度事業は、こうした状況の中で事業活動を継続し、新しい時代に向けた活動様式を作り上げる年になるように感じています。

基本的な運営指針としては、これまで各部で実施してきた各種の活動については基本的に継承しつつ、コロナ禍での医療職の活動として感染防止を最優先にした事業活動を行う予定です。研修会や講習会等の開催はリモート対応も可能としながら安全性を確保するとともに、より多くの参加を促せるよう新しい姿を試みていきます。一方で、リモートでの事業推進は会員間コミュニケーションを減少させる懸念があり、本会の特徴である会員の「絆」を意識した運用を心掛けたいと思います。

また、急激なデジタル化のなかで本会も遅れることなく対応していくため、広報活動をはじめとする情報発信媒体を再考し、会員の皆さんが多方面の情報をより早く得られるよう、発信力を高める方針です。具体的には会員への情報配信方法を紙媒体から電子媒体へ移行していくことから始める予定です。様々な活動が制約され、活動経費の再分配を要するタイミングがデジタル化への好機と捉え、積極的に推進していきます。

そして、延期となっております設立50周年式典については、今年度で開催する方向で準備を進めていく方針ですが、感染状況等をみながら式典のあり方も含め適切な時期に最終的な判断を行いたいと考えています。高知県理学療法士学会については稲岡忠勝学会長（高知リハ専門職大）のもと開催されます。その他、各事業の詳細については事業計画書をご参照ください。

以上、令和3年度の協会運営について方向性を述べましたが、少子高齢化の進展により社会構造が大きく変化していく中、理学療法士の協会活動は自らの存在意義を社会に示す取り組みでもあります。より多くの会員の皆さんが、協会活動に参画していただきますようお願いいたします。